

「令和6年度伊達市経営に関する説明会（梁川地域）」発言録

日 時：令和6年4月23日（火）

13時40分～14時30分

場 所：梁川中央交流館 大研修室

参加者：110/132人（代理出席者2人）

（町内会長、行政推進員）

市 長：説明「今年度の市政経営方針について」（要旨別紙参照）

【質疑応答】

生活環境

■バイオマス発電について

行政推進員：梁川町は過疎地域に指定されている。人口の減少や高齢化により自治会活動も停滞している状況である。また、一部地域では過疎地域というより限界集落の状態でもある。市には是非とも過疎化対策に取り組んでいただきたい。

説明の中で「安心・安全できれいなまち」を掲げているが、梁川町の住民が最も心配しているのはバイオパワー福島発電所の件である。今年の1月に新たに3つの計画を示されたが、それでは今までの計画は何だったのか。こんなずさんな計画ではこの先20年間で不安である。1つ目に現行井戸の廃止と新規井戸の設置、2つ目に燃料倉庫の設置、3つ目に燃料運搬車両の給油所の設置が示されたが、これら3点について現状どうなっているのかをお尋ねしたい。

産業部長：1点目の新規井戸の設置についてお答えいたします。市へも今年の1月に事業者より、今までの3か所の井戸では地下水のくみ上げが困難であり、新たな井戸を掘るという報告がございました。これまで、既存の井戸で冷却水の確保ができるとの報告を受けており、市としてもこの変更は非常に遺憾である旨お話ししております。なお、市では井戸の設置に関する許可等の権限がございません。事業者には、なぜこのような変更に至ったのかを含め、住民の皆様にしつかりと説明いただくようお願いしたところであります。現状といたしましては、これまでの3つの井戸のわきに新たな井戸を掘るという内容ですが、3月以降工事が進められており、3か所のうち2か所については工事が終了しております。残りの1か所は工事が完了しておらず、事業者によると5月末ごろに完了する予定とのこと。3つの井戸が設置された後、改めて市への説明を要望しているところです。

市民生活部長：燃料倉庫及び給油所の設置についてお答えいたします。1月に市への説

明があった際に、住民の方に真摯に説明するよう求め、その後住民の皆様への説明会を実施しました。しかし、燃料倉庫及び給油所の建設工程などの詳細については、現在も事業者から説明がないため、今後事業者を確認していきたいと考えております。

復旧・防災・減災関連

■水害対策について

行政推進員：梁川町は4つの河川が通っており、私の地域では少し雨が降ると床下浸水してしまう。排水ポンプは設置されているが、数が足りていないため増設していただきたい。

また、昔と異なり万代橋の下がゴミでいっぱいになっている。川づくりからして泥が溜まるようになってきているように思える。川幅を広げる等の対策をお願いしたい。

危機管理担当参事：1つ目の排水ポンプの件についてお答えいたします。現在は伝樋川付近に排水ポンプを設置しておりますが、ポンプの増設は費用面等の問題により困難な状況でございます。市としては排水ポンプ車を2台導入しており、浸水被害のある現場に駆けつけ排水作業をするような対応をしていきたいと考えております。

建設部長：2つ目の万代橋付近の土砂及びゴミの堆積に関しまして、広瀬川・阿武隈川の合流から上流側一部につきましては、国の直轄の管理区域となっております。しかし、現状について管理者にお伝えしながら、堆積の撤去についてもお話ししていきたいと考えております。

建設・土木

■農免道路の補修等について

行政推進員：349号線のバイパスから徳江大橋へ抜ける農免道路について、バイオマス発電所関係の大型車両が往来することもあり道路状況が悪くなっている。また、349号線と農面道路のその交差点について、大型車両により見通しが悪く、歩行者や自転車が見えない状況になっているため改善してほしい。

建設部長：国見町まで通る農免道路ですが、今年度より国の補助金を活用し舗装の整備を進めていく計画でございます。なお、令和6年度には約1億円を使い500m工事をしていく予定であり、その後も随時進めていく予定でございます。

また、交差点に関しましては、現地の状況を確認させていただきながら、区画線の引き直しや看板の設置等の安全対策を進めてまいりたいと考えております。